

みずほCustomer Desk Report 2022/07/19号 (As of 2022/07/15)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	138.99 AUD/USD
TKY 9:00AM	138.97	1.0027	139.27	1.1841	0.6757
SYD-NY High	139.13	1.0098	139.88	1.1872	0.6806
SYD-NY Low	138.39	1.0007	138.78	1.1805	0.6720
NY 5:00 PM	138.56	1.0089	139.73	1.1870	0.6793
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	31,288.26	658.09	日本2年債	▲0.0600%	0.0000%
NASDAQ	11,452.42	201.24	日本10年債	0.2300%	0.0000%
S&P	3,863.16	72.78	米国2年債	3.1295%	0.0036%
日経平均	26,788.47	145.08	米国5年債	3.0460%	▲0.0157%
TOPIX	1,892.50	▲0.63	米国10年債	2.9272%	▲0.0295%
シカゴ日経先物	27,020.00	280.00	独10年債	1.1240%	▲0.0510%
ロンドンFT	7,159.01	119.20	英10年債	2.0830%	▲0.0155%
DAX	12,864.72	345.06	豪10年債	3.4490%	▲0.0250%
ハンセン指数	20,297.72	▲453.49	USDJPY 1M Vol	12.08%	▲0.47%
上海総合	3,228.06	▲53.68	USDJPY 3M Vol	12.02%	▲0.36%
NY金	1,703.60	▲2.20	USDJPY 6M Vol	11.86%	▲0.27%
WTI	97.59	1.81	USDJPY 1M 25RR	▲0.99%	Yen Call Over
CRB指数	277.64	4.38	EURJPY 3M Vol	13.64%	▲0.52%
ドルインデックス	108.06	▲0.48	EURJPY 6M Vol	13.43%	▲0.45%

【昨日の指標等】

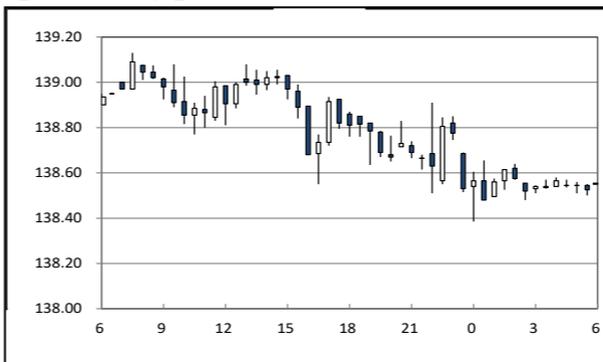
Date	Time	Event	結果	予想
7月15日	11:00	中 GDP(前年比)	2Q 0.4%	1.2%
	11:00	中 小売売上高(前年比)	6月 3.1%	0.3%
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	7月 11.1	-2
	21:30	米 小売売上高(前月比)	6月 1.00%	0.90%
	21:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	6月 1.00%	0.70%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	7月 51.1	50

【本日の予定】

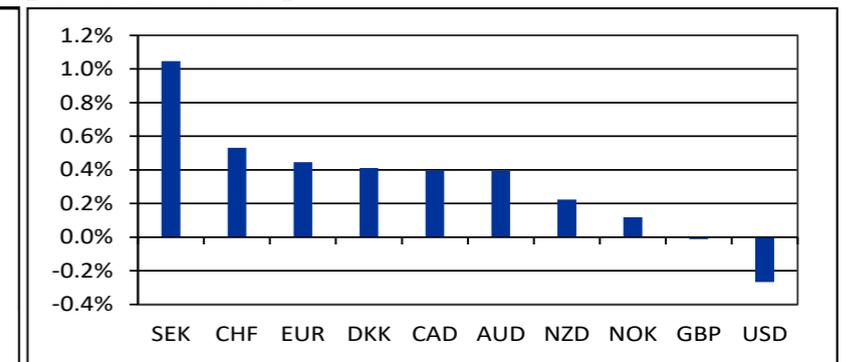
Date	Time	Event	予想	前回
7月19日	21:30	米 住宅着工件数(前月比)	6月 1580K	1549K
	21:30	米 住宅建設許可(前月比)	6月 1650K	1695K

東京	東京時間のドル円は138.97レベルでオープン。日経平均株価が続伸となる動きにドル円も139円台に乗せて底堅い推移となるも上値を迫る展開とはならず、139.08までの狭いレンジで推移。日本の三連休を控えた利益確定の動きからクロス円の売りに押され、138.77をつけて138.89レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は138.89レベルでオープンし、午後6月の米小売売上高(速報値)を控えて方向感が出にくい展開となった。138.67レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	中国第2四半期GDPが予想を下回り、前期比で-2.6%と弱い結果となったことから海外市場で円買いが強まり138.55まで下落したドル円は、138.67レベルでNYオープン。朝方は7月NY連銀製造業景気指数が予想を上回り、また、米6月小売売上高も予想を上回り前回分も上方修正されたことから、ドル円は138.91まで戻す。その後一旦反落し、続いて発表の6月鉱工業生産が予想を下回ったが、ブロード・セントルイス連銀総裁が「直近のインフレを受け年末の政策金利は3.75%にすべき」との発言や「7月の会合で100bpか75bpかはあまり大きな差はなく年内に調整すればいい」との発言に138.85まで戻す。しかし続いて発表されたミシガン大学消費者信頼感指数がヘッドラインは予想を上回ったが、5~10年のインフレ期待が2.8%と昨年の7月以来の低水準となったことから、今月の100bpの利上げ期待が後退し138.39まで下落。午後は週末を控え138.50付近での閑散な推移が続き、138.56レベルでクロスした。一方、ユーロドルは中国GDP結果を受けたユーロ円の売りに1.0007まで下落するが、その後はショートカバーから値を戻し、1.0054レベルでNYオープン。朝方は米小売売上高とNY連銀景況指数結果を受けやや下押しするが、米短期金利が下落する展開に1.0084まで戻す。しかしブロード総裁の発言等からドル買いが優勢となり1.0041まで反落する。その後は米株式市場が大幅に上昇する動きを受け1.0098まで戻す。午後は1.0080付近での閑散な推移が続き、1.0089レベルでクロスした。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	137.50-139.00	1.0070-1.0220	139.50-141.00

【マーケット・インプレッション】

アジア時間のドル円は138.31レベルでオープン。先週金曜日のミシガン大学消費者信頼感指数における期待インフレ率の結果を受け、今月27日開催予定のFOMCにて100bp利上げ期待が後退したことで、ドル円は上値重い展開のまま138.26レベルで海外時間へ。利上げ期待の後退からリスクオンムードの中円売りが強まるも、米企業決算発表への警戒感から次第に円が買われる展開にドル円は狭いレンジで推移し138.13レベルでクロスした。本日のドル円は底堅い展開を予想する。7月FOMCにおける100bp利上げ観測が後退したとは言え、従前からの日米金融政策の違いに変化は無く、かつ積極的に円を買う材料に乏しい中、ドル円は底堅い推移となろう。また本日は米6月住宅着工件数の発表を控えており、結果が市場予想を上回ればドル円上昇のサポート材料となる。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・小野崎